

Q5

お墓にはどんな費用がどれくらい掛かるの？

A お墓にかかる費用は千差万別です。

自分の予算をはっきりと決めて、準備に入るようにしましょう。お墓に必要な費用は①墓地の使用料②お墓を建てる費用③墓地の管理料(毎年)が発生します。②のお墓を建てる費用については、墓石の種類や大きさ、デザインにより価格はさまざまです。また、墓地によって区画の面積が異なることがあります。十分に情報を収集して、場合によっては数社から見積もりを取ることをお勧めします。



Q7

お参りにはどれくらいの頻度で行くのがいいの？

A 決まりはありません。心を落ち着かせるために、お参りするのもいいでしょう。

一般的に、お墓参りは、故人の命日や年忌法要のほかは、春と秋のお彼岸、お盆に出掛けることが多いようです。お参りする時期に決まりはありませんが、年末年始、成人、結婚、就職、入学や進学など、人生の節目にご先祖に報告したり、悩みや迷いがあるときに、心を落ち着かせるために訪れてもよいと思います。

Q4

お墓に関する相談は、誰にすればいいの？

A 公営・民営墓地によって、問い合わせ先が違います。

公営墓地は自治体の担当窓口、民営墓地は運営している宗教法人や地縁団体などに直接相談するといいいでしょう。また、お葬式をあげた葬儀社や民間の石材店も情報をたくさん持っていますので、信頼できるお店を見つけて問い合わせてみましょう。

Q6

お墓参りする人がいなくなる時、管理と供養はどうしたらいいの？

A 管理者が責任を持って供養してくれる「永代供養」があります。

将来お墓を守る人がいない人たちのために、永代供養墓を設ける墓地・霊園が増えていきます。費用や供養の仕方、手続きなどはそれぞれ異なりますので、まず自分たちが取得しようと思っている墓地・霊園に永代供養墓があるかを確認しましょう。



生活安全課 主事 山口 寛

Q8

お墓は、自宅の敷地内に建てられるの？

A お墓を建てられる場所は、法律で定められた墓地のみです。

たとえ自宅敷地内であっても、遺骨を埋葬することはできません。法律に従い必ず定められた墓地にお墓を建てるようにしましょう。現在、宮崎市が管理している墓地は13か所。次ページで、貸し出しを行っている「宮崎みたま園」と「宮崎南部墓地公園」を紹介します。

Q1

お墓は建てる必要があるの？

A お墓は故人だけでなく、残された家族のためにも建てられます。

亡くなった人を埋葬し、盛り土をしたのがお墓の始まりと言われています。いわば亡き人の“家”がお墓です。故人の御霊(みたま)を祭り、先祖を供養する場所としても重要な意味を持っています。また、残された家族にとっても、先祖に手を合わせることで、心のよりどころにもなります。



【特集2】

今さら聞けない!

お墓のアレコレ

ohaka no ale cole

近年、終活の一つとして、意識する人も多いお墓。誰もが抱えるお墓への不安や疑問を解消するべく、お墓に関するよくある質問と答えを伺いました。

【問】生活安全課 ☎21-1751

Q3

お墓はいつ、誰が準備するの？

A いつ、誰が準備してもかまいません。

お墓は、誰が建てなければならないとか、誰が建ててはいけけないなどといった決まりはありません。一般的には祭祀主宰者が建てるケースが多いようです。お墓を建てる時期も特別な決まりはありません。お葬式の後でしたら四十九日(忌明け)まで、そのほか一周忌やお盆、お彼岸などの法要に建てられる例が多いようです。



生活安全課 主任主事 野口 牧子



Q2

墓地の違いはあるの？

A 経営・管理者が異なり、特徴がそれぞれあります。

墓地・霊園には、大きく2つの種類があります。公営墓地は自治体が管理・運営するもので、使用料や管理料が民間に比べ安いといわれています。そのほかに宗教法人や地縁団体などが運営する民営墓地があります。

